

より良い選択とは？



小澤晃代

堺化学工業(株)中央研究所
[590-0985] 堺市堺区戎島町5-1
研究員, 博士課程後期在学中.
専門は光化学, 光触媒.
ozawa-a@sakai-chem.co.jp
www.sakai-chem.co.jp

修士課程を修了後に就職し、10年近く無機材料の研究開発に取り組んできました。結婚し、二児にも恵まれ、忙しい日々を過ごしています。そんなある日、「大阪市立大学の人工光合成研究センターと共同研究をすることになりそうだが、やる気はあるか？」と上司から打診がありました。しかも「先方の教授は、博士課程に進学する学生を希望している。」というのです。そんな縁で、2017年より社会人ドクターとしての生活がスタートしました。最初は、幼い子供もいて残業もできない私に、仕事と学業が務まるのだろうか？と不安でした。それでも、映画監督のジェームズ・キャメロン氏の「Failure is an option, but fear is not. (失敗はありで、恐れるのはなし)」の言葉を思い出し、80歳のときに振り返ったら、チャレンジするほうを選ぶだろうなど、進学する決意をしました。とても幸運なことに、受け入れ先の吉田朋子教授は、二人のお子さんを育てながら仕事を続けてこられた、女性研究者のロールモデルとなる先生で、私を取り巻く環境についても、とても理解を示して下さる心強い存在です。

人によく「どのように両立しているの？」と聞かれるのですが、仕事と私事を両立しようと気を張ったことが正直ないのです。そのためか、両立できているとは言いがたいかもしれません。歩きながら固体表面の構造に考えを巡らせすぎて、保育園を通り過ぎて慌てて保育園に走ったり、知らぬ間に手帳に芸術的な落書きが大々的に書かれていて、手帳を見るたびに笑えたり。出張先で保育園からのお迎えコールが鳴り、途方に暮れるときもありますが、周囲のサポートに助けられ、何とかなるものです。本当に感謝です。綱渡りのような日々ですが、とても充実して楽しいものです。

それでも、毎日の生活のなかで仕事・学業・家事・育児の何を優先するべきか迷うことが多々あります。迷った場合は、昔に本で読んだ手法で「80歳になって今の体を手に入れたとしたら、やりたいほうを選択する」を実践しています。頭の中で80歳になってみて、どちらかを選ぶのです。そうすることで、後で「ああすればよかった。」と後悔することが少なくなり、より満足

のいく人生が送れるだろうということです。金曜日の夜は、明日の午前中に子供を公園に連れて行くか、でも論文も書きたい。いっそのこと、雨でも降らないか。いろいろなことがいつも頭をよぎります。そして翌朝カーテンを開けると、雲一つない青空。目をつぶってじっと頭の中で80歳になってみる。そして砂場セットを抱えて公園に向かうのです。またあるときは、「寝るまでに帰ってきて」と4歳の娘にお願いされたことがあります。悩みましたが、それでも水曜日だけは私の時間と割り切って、子供たちを母に託し、思う存分、自分のために時間を使うことにしています。おかげで水曜は纏まった時間がとれ、仕事や学業が進み、自分の精神衛生上、とても有難い時間になっています。しかも私の知らない間に、子供たちと母が絆を深めていて、これはこれで良いことだと思えるのです。

保育園の役員も、悩んですることを決めた私事の一つです。何度か役員をさせていただいたのですが、よい経験でした。私の子供たちが通う保育園は親子参加型の保育園で、親がかかわる行事が多いのが特徴です。親子遠足や交流会、保育園運営改善のための署名活動など、沢山の取り組みにかかわりました。役員をすることで普段は話す機会がない、ほかのクラスのお母さん・お父さんと親密になり、つながりもできました。役員を務めるお父さん・お母さんのスキルの高さにも驚かされました。アンケート一つにおいても、従来は紙を配布して集めるというスタイルでしたが、今ではQRコードを読み取ってWEBで入力する合理的なスタイルへと変わりました。さまざまな職種の方が集まるので、もっているスキルも多様です。前に出て話すのが得意な方、資料作りが上手な方、ギターで子供の心を掴む方。まさに「ダイバーシティ」とはこういうことかと、勉強になったものです。保護者会活動を通して築いた人間関係は、飲みに行ったり楽しんだり、時に励まされたり、私の人生の彩りを豊かにしてくれています。

一見、困難なことや面倒なことでも、目先のことだけにとらわれず、より良い選択をしていけたらと思います。